

TUNED BY BRABUS!

AXOPAR 28 CABIN / BRABUS LINE TRIM PACKAGE

「AXOPAR×BRABUS」のコラボレーション。「AXOPAR(アクソパー)」は世界各国のボートオブザイヤーを総なめにしたフィンランドのビルダー。

建造国はポーランドという新しいスタイル。

一方、「BRABUS(ブラバス)」は、メルセデスベンツやスマートのチューンナップを専門とし、コンプリートカーを製造し続けてきたメーカー。

その類い稀なチューンナップメーカーがスポーツボートに取り組んだ。世界的なチューナー「BRABUS」が選んだビルダーは「AXOPAR」。

日本に初上陸を果たした「AXOPAR 28 Cabin / BRABUS Line Package」が、新しいボート史を切り開く。

text: Yoshinari Furuya photo: Makoto Yamada

special thanks: OKAZAKI YACHTS <http://okazaki.yachts.co.jp>





ボトムデザインやエクステリアの進化、そして特別仕様の「BRABUS Line Package」 進化するAXOPAR……「AXOPAR 28 Cabin」を追い越す同クラスの量産モデルは、まだ現れそうにない

「Best of Boats Winner 2015 International」, 「Motor Boat Awards Winner 2016」, 「European Power Boat of The Year 2016」。世界3大ボートオブザイヤーを受賞した「AXOPAR (アクソパー)」が日本に初上陸したのは2017年。その年、最もエキサイティングなボートと評された「AXOPAR 28 T-Top」は、日本ボートオブザイヤーの中型艇部門とBEST FUN 部門をダブル受賞。2018年のジャパンインターナショナルボートショーの会場で発表された「日本ボートオブザイヤー 2017」の栄誉に輝いた。

この革新的なボートデザインと想像を超えるファンな走りが「AXOPAR」のキャラクター。そして、「AXOPAR 28 Cabin」と、チューニングメーカー「BRABUS (ブラバス)」とコラボレーションから、BRABUS MARINEのエクステリアとインテリアを取り入れた特別仕様が完成。それが「BRABUS Line Trim Package」だ。



今回日本に上陸したのは、「AXOPAR 28 Cabin」のBRABUS Line Trim Package。それは、BRABUSのデザインとパーツでグレードアップしたAXOPAR。車でいうならば、カーメーカー自らドレスアップをした特別仕様車を正規ディーラーが販売するようなもの。アフターについても安心して購入することができる。

*

ホワイトの船体にブラックのトリム。「AXOPAR」のロゴの下には、小さめのカーボンプレートにグレーの「BRABUS」。キャビン側面にはカーボンプレートに記されたモデル名「28」が赤い差し色で記されているのもクールだ。パルピットやラブレール、クリート、ハンドレール、タルガアーチなど、全てのステンレスパーツはマットなブラックで統一されている。クリートには「ダブルB」のロゴが刻まれ、BRABUS Lineであることを、さりげなく主張する。また、ハルやデッキ、ルーフの色は、スタンダードカラーの「ホワイト」以外に、鮮やかな「マイアミブルー」や、精悍な「プラチナムグレー」など、BRABUS Line限定カラーも選ぶことができる。

*

トランサムには、日本国内で搭載されたスズキマリンの船外機。標準以外のスズキ船外機を搭載するためにジャックプレートを追加することに



基本のデザインは同じだが、よく見るとキャビンのデザインは進化している。逆傾斜したフロントウィンドシールドは大きくラウンドし、Aピラーは極限まで細く、ドライバースシートからの視認性は格段に向上している。さらにルーフの角を運ませることで、ハンドレールはルーフの範囲に収まり、見た目だけでなく、安全性も向上している。



なったが、逆に、走りに合わせて上下に微調整できるメリットを手に入れた。また、船外機を上げ、吃水を浅くすればシャローでも有効だ。

エンジンの左右に伸びるトランサムは、シンセティックチーク Esthec。オーブントランサムのアフトデッキとフラットにつながりスムーズなエントリー。アフトデッキにはオプションの「アフト・キャビン」。フラットなキャビン上部には、サンデッキ・クッション。BRABUS Line 仕様のグレーの Ninoxx が使われリッチ。パウデッキにも同じ Ninoxx のクッション。ポート側にはソファ、スターボード側は昇降テーブル。アシンメトリックデザインも機能的でモダン。テーブルを下げてクッションを乗せれば、フラットなサンデッキになる。そのパウデッキ側からキャビン前方のドアを開けると、オプションのトイレ。フロアはボトムまで下がり、トイレの天井は 1,250mm

の高さが確保されているので、着座すれば余裕は十分。このクラスにしては、想像以上に広く、ウッド調でデザインされたフロアや手洗い用のシンクも備わり快適だ。

サイドスライドドアから車に乗り込むようにキャビンに入る。インテリアも BRABUS Line 仕様。シートはグレーの Ninoxx。ダイヤモンドステッチパターンが入れられたシートの一つ一つに、BRABUS と刻印されたプレートが取り付けられ高級感が漂う。ステアリングホイールのグリップやパッセンジャーシートのハンドレールにはグレーのスエードが巻かれ、ステアリングセンターには BRABUS の「ダブル B」がエンボスにステッチされている。リユクスでクールな BRABUS の世界観が表現されている。

そして、AXOPAR の中でも北欧で人気の Cabin シリーズは、ヒーターを

使えて暖かいというだけではない。短い夏には、太陽を一杯受けられるクラス最大のサンルーフが特徴。幅 123mm、前後 150mm の広大なソフトトップは、オープンポートのような開放感で太陽を近づけてくれる。

ドライビングシートは硬め。スポーツカーのようなホールド感。フリップアップすれば動線も確保され、スタンディングでの操船もしやすい。キャビンもマイナーチェンジされ、フロントウィンドシールドは大きくラウンド。A ピラーが細くなり、視認性が向上した。他の変化は、キャビンルーフ。単純なストレートのルーフからアールを持つエアロダイナミズムデザインに。ハンドレールのための窪みが付けられ、一体感とデザインが与えられ、無骨さは和らぎ、風の流れも改善されている。

停泊時、ドライバースシートとナビゲーターシートを前に倒せば、シート

の下にはシンクと冷蔵庫。後部座席はドライバースシート間際までフラットに変形。ドライバースシートとナビゲーターシートを横に回せば、十分な長さを確保した簡易ベッドとなる。後部座席を折りたたむと、潜り込むような低い位置にアフトキャビンのベッド。長さ 1,930mm、幅 1,170mm のセミダブルサイズのベッドスペースは天井高こそ低い、左右のサイドウィンドウとトップライトから光が入り、明るく広く感じる。トップライトが開閉するので、キャビンドアやサンルーフを開ければ、空気は流れ、キャビンはシープリーズで満たされる。昼寝や仮眠には十分な広さと快適さだ。

*

そして「AXOPAR 28」の一番の魅力は、走り。エンジンは、カスタマーが指定した SUZUKI の 325 馬力船外機。ホホワイトペイントの 4.3 リッター



28 フィートのウォークアラウンドという限られた空間で、実用的なトイレと仮眠できるベッド、シンクや冷蔵庫など、「欲しい」を全て叶えるアイデアとギミックはフィンポート「AXOPAR」の魅力。後部座席を伸ばせば、フラットなベッドになり、折りたたみ、上に固定すれば、コクピットとアフトキャビンが繋がり、一体となる。



V型6気筒の船外機は、日本ではほとんど見ることがないカラーとサイズ。ホワイトにグレーとブラックのモノトーンが、ボートに合わせたかのように、違和感なく搭載されている。

波の中でのファーストインプレッション。ワイドになった新設計のボトムデザインがローリングを抑え、低速での安定性を向上。その安定したデッドスローは、3.0ノット。1,000回転で5.8ノット、2,000回転で7.1ノット、3,000回転で15.2ノット、4,000回転で27.2ノット。クルージングスピードの4,500回転で33.0ノット、5,000回転で37.1ノット。トップスピードは5,600回転で42ノット。メーカーデータでは、MERCURY Verado350仕様のトップスピードは43ノットと発表されている。SUZUKIの325馬力とは、25馬力の差。その馬力差と悪条件下の中でも十分なスピードと加速を見せてくれた。そして、初期モデルから継承されたダブルのステップドハルがもたらす加速性能とソフトライドは、さらに洗練された。姿勢を崩すことなく波を切るAXOPARの痛快な走りは健在だ。

*

新設計のワイドハルは、AXOPARの持ち味でもある軽快なハンドリン



グを少しマイルドに抑え、代わりに安定性を手に入れた。また、ブルワークを高くし、外洋フィッシングなどデッキ上での安全性を高くした。ワイドなハルと安定性の高いボトムデザインに加え、アフトキャビン仕様にしたことで生まれた重量増がトップスピードを落としたが、機能性、快適性、走行性能など、総合力はさらに上がり、同クラスの中で「AXOPAR 28 Cabin」を追い越す量産モデルはまだ現れていない。ボトムデザインやエクステリアの進化、特別仕様「BRABUS Line Trim Package」の追加……まだまだAXOPAR伝説は止まりそうもない。 *P.B.*

AXOPAR 28 Cabin BRABUS Line Trim Package

全長 9.18 m
全長 9.18 m
全幅 2.95 m
喫水 0.80 m
重量 1.94 ton
エンジン SUZUKI DF325A
最高出力 325 HP
燃料タンク 280 L
問い合わせ先 オカザキヨット
TEL: 西宮 0798-32-0202、横浜 045-770-0502
<http://okazaki.yachts.co.jp>



vimeo

